

Ⅲ 経済的負担の軽減					Ⅳ 出産年齢・ライフプランの理解	Ⅶ 住宅関係
多子世帯の保育料の軽減	乳幼児医療費助成	進学等に係る融資等	授業料等の軽減	その他		
<p>○保育所・幼稚園保育料軽減 [国の制度] 子どもが同時入所の場合、 2人目の保育料を1/2に軽減 3人目は無料</p> <p>※幼稚園 多子世帯の場合、同時就園（小学3年生まで）が対象 2人目の場合、 平均保育料 公立 79,000円 " 私立 308,000円 上限にその1/2を限度額</p> <p>[県の制度] 保育所に入所する第3子以降、4歳までの児童 （国制度の対象外） ①0～3歳 保育料1/2軽減 ②4歳児 保育料1/3軽減 県と市町村1/2ずつ負担</p> <p>H25年度実績 （保育所） 計1,509人 87,700千円 （公立幼稚園） 計121人 2,323千円 （私立幼稚園） 計311人 9,616千円</p>	<p>○乳児 通院・入院 無料</p> <p>H25年度実績 延115,021件 163,618千円</p> <p>○幼児 通院 自己負担 530円/日 入院 自己負担1,200円/日 通院：～3歳児 入院：～未就学児</p> <p>H25年度実績 入院 延3,561件 54,314千円 通院 延402,916件 164,644千円 （金額は県費分のみ）</p>	<p>○がんばる子育て家庭支援 融資（多子世帯向け低利融資） 3人以上の子どもを有する者に対し、子どもの教育費等を低利で融資</p> <p>限度額：300～500万円 実績：H18～259件 6億4,099万円</p> <p>○富山県奨学資金 高校生・専修学校生、大学生等への無利子の奨学資金の貸与</p> <p>※子ども3人以上世帯の所得基準を子ども2人以下世帯の1.5倍に緩和 高校18,000円/月～ 大学45,000円/月～</p> <p>H25年度実績 172,818千円</p>	<p>【授業料等の軽減】 国の制度 ○高等学校等就学支援金 高等学校等の授業料に充てるために給付 年収概ね910万円未満の世帯対象 [全日制の場合] 公立：9,900円/月 私立：9,900～24,750円/月</p> <p>県の制度 ○私立高等学校生徒奨学補助金 国の就学支援金の上乗せ補助 （低所得世帯対象） 授業料減免2,475～4,950円/月 入学料減免74,350円</p> <p>H25年度実績 124,376千円</p> <p>【授業料以外の教育費軽減】 ○高等学校等奨学のための給付金 教材費や修学旅行費等の負担を軽減 対象：生活保護受給世帯または市町村民税所得割非課税世帯 公立：27,800～129,700円/年 私立：38,000～138,000円/年</p>	<p>○子育て応援券事業 子どもが産まれた家庭に保育サービス等利用券を配布 第1・2子 1万円 第3子 3万円</p> <p>利用サービス例 一時預かり、病児・病後児保育、母乳相談、予防接種、乳児の沐浴指導、読み聞かせ絵本の購入、フッ素塗布</p> <p>H25年度実績 配付8,335人 金額109,070千円</p> <p>のべ利用29,587人 金額90,803千円</p> <p>○児童手当 3歳未満 15,000円 3歳以上小学校終了前 10,000円 （第3子以降15,000円） 中学生 10,000円</p> <p>※所得制限限度額以上の場合は、特例給付として一律5,000円</p>	<p>○不妊治療助成 保険適用外の特定不妊治療費の一部を助成 1回15万円×年間3回 （一部の治療：上限7.5万円）</p> <p>※H26～H27 ・39歳以下の新規申請者 年間助成回数最大6回に拡充</p> <p>【県上乗せ】 通算助成回数「制限なし」、 「所得制限なし」</p> <p>※H28～ ・年齢制限（43歳未満）</p> <p>H25年度実績 延べ1,458件 181,574千円 （国1/2、県1/2）</p>	<p>○すみよい家づくり融資制度 子育て世帯への住宅取得支援</p> <p>対象：高校生以下の子2人以上、または23歳未満の子3人以上が現に同居、または同居しようとする世帯</p> <p>限度額：5百万円まで 償還：15年以内</p> <p>H25年度実績 延べ7件 13,280千円</p> <p>○県営住宅入居条件 収入要件が緩和される子育て世帯を拡大（H26.3条例改正） 未就学児⇒18歳*</p> <p>※同居者に18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者</p>